

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-100892(P2006-100892A)

【公開日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-281050(P2004-281050)

【国際特許分類】

H 04 N	5/44	(2006.01)
H 04 B	1/06	(2006.01)
H 04 H	1/00	(2006.01)
H 04 N	5/445	(2006.01)
G 10 L	13/06	(2006.01)

【F I】

H 04 N	5/44	Z
H 04 B	1/06	Z
H 04 H	1/00	A
H 04 N	5/445	Z
G 10 L	5/04	F

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月18日(2007.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

テレビまたはラジオの放送信号を受信する放送受信装置において、

通信手段と、

前記放送信号に含まれるコマーシャルを検出するコマーシャル検出手段と、

受信中の放送信号の番組内容に関連する番組関連情報と前記番組内容に関連しない前記番組関連情報の詳細情報とを前記コマーシャル検出手段によりコマーシャルを検出していない時に、前記通信手段を介して取得する情報取得手段と、

前記取得した前記番組関連情報と前記詳細情報とを記憶する記憶手段と、

前記記憶した前記番組関連情報と前記詳細情報とを前記検出したコマーシャルの期間中に出力する情報出力手段を備えたことを特徴とする放送受信装置。

【請求項2】

前記情報出力手段は、

前記コマーシャルが開始された場合には、前記コマーシャルの出力を中断し、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つを出力させることを特徴とする請求項1記載の放送受信装置。

【請求項3】

前記情報出力手段は、

前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力途中において、前記番組関連情報の出力を中断される情報出力中断手段とを備えたことを特徴とする請求項1または請求項2記載の放送受信装置。

【請求項4】

前記情報出力中断手段は、

前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力途中において、前記コマーシャルが終了し、番組が開始された場合には、前記番組関連情報の出力を中断することを特徴とする請求項1または請求項2記載の放送受信装置。

【請求項5】

前記情報出力手段は、

前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力が中断された後、再度コマーシャルの期間中に、前記番組関連情報を再出力する場合には、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの中断した時点に出力していた情報から開始することを特徴とする請求項3または請求項4記載の放送受信装置。

【請求項6】

前記情報出力手段は、

前記コマーシャルの期間中に、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの全部の出力が完了した場合には、前記コマーシャルを出力させることを特徴とする請求項2記載の放送受信装置。

【請求項7】

前記コマーシャルの期間は、

放送信号に含まれるコマーシャル判別信号に基づいて検出することを特徴とする請求項1～請求項6記載の放送受信装置。

【請求項8】

前記コマーシャルの期間は、

前記通信手段を介して情報提供センタから取得することを特徴とする請求項1～請求項6記載の放送受信装置。

【請求項9】

前記放送信号に含まれる或いは前記情報提供センタから取得した放送番組表に基づいて前記コマーシャルの期間を取得することを特徴とする請求項1～請求項6記載の放送受信装置。

【請求項10】

前記詳細情報は、出演者に関する最新のニュース、テレビ番組リスト、ラジオ番組リスト、C DやD V D等のメディアリスト、メディアのジャケット画像情報、コンサート等のイベント情報、事務所情報のいずれか1つ又は複数の組み合わせであることを特徴とする請求項1～請求項6記載の放送受信装置。

【請求項11】

前記番組関連情報は前記番組の出演者であり、前記詳細情報は該出演者のホームページアドレスである事を特徴とする請求項1～請求項6記載の放送受信装置。

【請求項12】

前記詳細情報の出力方法を設定する設定手段を備えたことを特徴とする請求項1～請求項11記載の放送受信装置。

【請求項13】

前記設定手段は、

音声出力の読み上げ速度、読み上げ音の音質、音響効果、音像定位等を設定することを特徴とする請求項12記載の放送受信装置。

【請求項14】

前記設定手段は、

音声出力の読み上げ時の自動録音の要否を設定することを特徴とする請求項12記載の放送受信装置。

【請求項15】

前記番組関連情報を構文解析する解析手段を備え、

前記情報取得手段は、

前記番組関連情報の音声出力の読み上げ中に、前記解析手段により前記番組関連情報を

構文解析した結果、新たな固有名詞があった場合には、該固有名詞を番組関連情報の取得対象の出演者として追加することを特徴とする請求項1記載の放送受信装置。

【請求項16】

前記番組関連情報は、前記番組に出演する出演者を特定する出演者名情報であり、前記詳細情報は該出演者に関連する情報からなり、

前記情報出力手段は、

前記取得した出演者名を一覧リストとして表示画面に表示し、前記出演者に関連する情報を音声で出力及び表示手段に表示のいずれか1つであることを特徴とする請求項1記載の放送受信装置。

【請求項17】

前記情報取得手段は、

前記表示された一覧リストの中からユーザにより選択された出演者名を前記情報提供センタに送信し、前記情報提供センタより該出演者名に関連する詳細情報を取得することを特徴とする請求項10記載の放送受信装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明は、テレビまたはラジオの放送信号を受信する放送受信装置において、通信手段と、前記放送信号に含まれるコマーシャルを検出するコマーシャル検出手段と、受信中の放送信号の番組内容に関連する番組関連情報と前記番組内容に関連しない前記番組関連情報の詳細情報を前記コマーシャル検出手段によりコマーシャルを検出していない時に、前記通信手段を介して取得する情報取得手段と、前記取得した前記番組関連情報と前記詳細情報を記憶する記憶手段と、前記記憶した前記番組関連情報と前記詳細情報を前記検出したコマーシャルの期間中に出力する情報出力手段を備えたことを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、前記情報出力手段は、前記コマーシャルが開始された場合には、前記コマーシャルの出力を中断し、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つを出力させることを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、前記情報出力手段は、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力途中において、前記番組関連情報の出力を中断される情報出力中断手段とを備えたことを特徴とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0009】**

また、前記情報出力中断手段は、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力途中において、前記コマーシャルが終了し、番組が開始された場合には、前記番組関連情報の出力を中断することを特徴とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

また、前記情報出力手段は、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの出力が中断された後、再度コマーシャルの期間中に、前記番組関連情報を再出力する場合には、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの中断した時点に出力していた情報から開始することを特徴とするものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0011】**

また、前記情報出力手段は、前記コマーシャルの期間中に、前記番組関連情報及び前記詳細情報のいずれか1つの全部の出力が完了した場合には、前記コマーシャルを出力させることを特徴とするものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0012】**

また、前記コマーシャルの期間は、放送信号に含まれるコマーシャル判別信号に基づいて検出するとするものである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0013】**

また、前記コマーシャルの期間は、前記通信手段を介して情報提供センタから取得することを特徴とするものである。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0014】**

また、前記放送信号に含まれる或いは前記情報提供センタから取得した放送番組表に基づいて前記コマーシャルの期間を取得することを特徴とするものである。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記詳細情報は、出演者に関連する最新のニュース、テレビ番組リスト、ラジオ番組リスト、C D やD V D 等のメディアリスト、メディアのジャケット画像情報、コンサート等のイベント情報、事務所情報のいずれか1つ又は複数の組み合わせであることを特徴とするものである。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、前記番組関連情報は前記番組の出演者であり、前記詳細情報は該出演者のホームページアドレスである事を特徴とするものである。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、前記詳細情報の出力方法を設定する設定手段を備えたことを特徴とするものである。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、前記設定手段は、音声出力の読み上げ速度、読み上げ音の音質、音響効果、音像定位等を設定することを特徴とするものである。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、前記設定手段は、音声出力の読み上げ時の自動録音の要否を設定することを特徴とするものである。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、前記番組関連情報を構文解析する解析手段を備え、前記情報取得手段は、前記番組関連情報の音声出力の読み上げ中に、前記解析手段により前記番組関連情報を構文解析した結果、新たな固有名詞があった場合には、該固有名詞を番組関連情報の取得対象の出演者として追加することを特徴とするものである。

【手続補正17】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0021**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0021】**

また、前記番組関連情報は、前記番組に出演する出演者を特定する出演者名情報であり、前記詳細情報は該出演者に関連する情報からなり、前記情報出力手段は、前記取得した出演者名を一覧リストとして表示画面に表示し、前記出演者に関連する情報を音声で出力及び表示手段に表示のいずれか1つであることを特徴とするものである。

【手続補正18】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0022**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0022】**

また、前記情報取得手段は、前記表示された一覧リストの中からユーザにより選択された出演者名を前記情報提供センタに送信し、前記情報提供センタより該出演者名に関連する詳細情報を取得することを特徴とするものである。